

## <茶摘>

夏も近づく 八十八夜

野にも 山にも  
若葉が しげる

あれに見えるは  
茶つみじゃないか

あかねだすきに  
すげのかさ

ひより続きの  
今日 このごろを

心のどかに  
つみつつ 歌う

つめよ つめつめ  
つまねばならぬ

つまにや  
日本の 茶にならぬ